

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2093200034		
法人名	社会福祉法人ハインスライフ		
事業所名	認知症対応型共同生活介護施設グループホーム朝日		
所在地	長野県上高井郡高山村大字牧103番地1		
自己評価作成日	平成 25年 11月 29日	評価結果市町村受理日	平成 26年 1月 7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku_in/20/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;ijyosyoCd=2093200034-00&amp;PrefCd=20&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku_in/20/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;ijyosyoCd=2093200034-00&amp;PrefCd=20&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 25年 12月 20日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開所5年目を迎え、一人一人のご利用者の健康管理に努める為、医療、ご家族と連携を密にし、どの職員でも適切に緊急対応がとれるよう記録の書き方、医療への報告等について職員同士で学べるようにし、落ち着いて対応できる自信をつけてきた。  
看取り介護を開始したご利用者もいらしたが、体力が回復し、自宅へ戻ったり、外出を楽しんだりするまでになり、職員の介護に対する想いや認識が変わった年と思う。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

雪化粧された山々に囲まれた高山村牧地区のチャオの森に隣接して長野市内で医療・福祉の事業を運営する社会福祉法人の複合施設が見える。その施設に抱えられ、開設5年目を迎えている当ホームがある。そこには三市町村(高山村、小布施町、須坂市)からの高齢者が一緒に暮らしている。法人の基本姿勢「今、目の前にいる利用者が何をしたいのかを考えて行動する」が職員に浸透し、利用者一人一人を尊重し、その人の立場に立った利用者主体の介護を提供している。また、介護のプロとしてより質の高いサービスを目指して自己研鑽にも努めている。家族からは「利用者の思いに寄り添う姿勢に真心を感じる」、「本人も心地良く生活が出来ていてありがたい」等、喜びや感謝の言葉が寄せられている。住宅地から離れた場所ではあるがボランティアで訪れた方々は毎年継続して訪問し、利用者の五感を楽しませている。ボランティアがボランティアを紹介するなど、その輪は広がりを見せている。今年度10月に初めて特養と老健、ホーム合同の避難訓練が実施された。運営推進会議も家族、住民、村担当者等の出席を得て定期的(奇数月)に開催されるようになり、ホームの運営やサービスに対する助言をいただくなど有意義な話し合いが行われている。重度化や終末期についても希望があれば最期まで利用できるホームであるが、住み替えができることで将来的な安心を確保する意味からも特養へ併せて申し込まれているケースもある。看取り介護計画を作成し、それに沿った支援を受けながら最期を迎えられた方や急変し救急車で医療機関に移られて最期を迎えた方、そして入院療養中の方もいる。18人の利用者(平均介護度2.6、平均年齢86.1歳)は自分の城を持ち、自分らしい暮らしを楽しんでいる。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				